

10/14 STEM教育の授業

「安全に使用できる車を作る」をテーマにSTEM教育の授業が行われました。子どもたちは、衝突時の被害の軽減や危険回避の方法などを試行錯誤し、ミニカーにプログラミングを行いました。STEM教育は、ロボット作りやプログラミングなどを通じて論理的思考力や創造性、問題解決能力の向上を目的にした取り組みです。今年度から、モデル校としてふじみ野小学校が取り組んでいます。



10/14 共生社会ホストタウン関連事業 車いすハンドボール体験教室

2010バンクーバーパラリンピック銀メダリストの元アイススレッジホッケー日本代表の上原大祐^{だいすけ}氏を講師に招き、諏訪小学校4年生を対象に車いすハンドボール体験教室を開催しました。参加した子どもたちは、「車いすをバランスよくこぐのが難しかった」「もっとパラスポーツをやりたい」など障がい者に対する理解や障がい者スポーツの関心を高めていました。

みんなで作る

公共施設の「これから」

Vol.9

☎ 管財課 ☎554

市では、社会情勢の変化や施設の老朽化などを踏まえ、今後の公共施設のあり方を考える「公共施設マネジメント」に取り組んでいます。

公共施設の再編の手法

公共施設を長く安全に利用していただくためには、「公共施設の再編」を検討する必要があります。公共施設の機能を維持して効率化や施設規模の適正化を図れる再編の手法には、主に次のようなものがあります。

- ①複合化：1つの土地や建物に異なる機能の施設を集合させること
- ②多機能化：1つの施設に複数の機能を持たせること
- ③集約化：同じ種類または類似した機能を一つの施設に集約させること
- ④その他：民間活力の活用や近隣自治体との施設の共同利用など

同じ敷地や建物内に複数の施設・機能を持つことで、施設維持管理費の抑制のほか、多世代交流の促進や利便性の向上などが図られます。

また、民間活力を活用した場合、市民サービスの向上や維持管理の効率化なども期待できます。

